

# 2018年度 学校評価報告書

(自己評価・授業評価・学校関係者評価及び次年度方針)

2019年3月31日  
大阪信愛学院小学校  
学校評価委員会

はじめに

「学校教育法」「学校教育法施行細則」に基づき、2018年度に実施した「学校評価」の内容をご報告致します。

## 1. 建学の精神

1877年、フランスからやってきた4人のシスターたちは町の中に棄てられた捨て子たちを養育することから始めました。それは「隣人を自分のように愛しなさい」というキリスト教精神です。弱い者、困っている者、傷ついている者、に手を差し伸べるという行為を実践したものです。

1884年、大阪の川口居留地に最初の女学校が創立されました。信愛に学ぶ生徒たちが信愛の精神を体得し、社会に貢献できる人間になること、愛と奉仕の精神をもった人間の育成を目指します。

## 2. 教育目標

カトリック精神にもとづく人生観をもたせ、豊かな心を養うと共に、物事を正しく判断して行動し、進んで国際社会に奉仕できる明朗で健康な人を育てることを目指します。

- (1) 魅力ある信愛教育を迫及する。
- (2) 基礎学力の定着と向上を図る。
- (3) グローバル社会で求められる力をつける。
- (4) 広報活動の充実を図る。

## 3. 2018年度（平成30年度）学校目標

- (1) 創立者についての理解を深める。
- (2) 児童が持っている力を最大限に伸ばす。
- (3) 効果的にICT機器を活用した授業を展開する。
- (4) 入試関連行事の充実をはかる。

4. 2018年度（平成30年度）学校目標と具体的方策及び評価指標

	今年度の重点 目標	(PLAN) 具体的な取組計画	(DO) 評価指標
魅力ある信 愛教育を迫 求する。	創立者について の理解を深め る。	カトリック精神に基づいて、豊かな心を養うとともに物事を正しく判断し、進んで国際社会に奉仕できる健康な人を育成する。	世界の恵まれない子どもたちに目を向け、自分たちにできることを考え実行する姿勢を養う。
	感謝と思いやりの心を養う。	「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。	1年生から6年生の全児童がたてわり班に分かれて活動をする。ランチタイムを始め、清掃活動・奉仕活動などを進んで行い、いたわり・信頼・我慢する心を育む。
基礎学力の 定着と向上 を図る。	持っている力を 最大限に伸ば す。	男女共学に伴い、中学受験に対応できる学力を養う。	放課後学習・土曜学習・パワーアップ学習などを通して、個人に応じた指導をし、ひらめき・やる気・可能性を引き出す。
	効果的に ICT 機 器を活用した授 業を展開する。	基本的な使い方を習得させ、短時間で効果的な学習に活用させる。	タブレットを使った効果的な授業の研究をする。
グローバル 社会で求め られる力を つける	進んで英語学習 に取り組む姿勢 を養う。	英語の課題に、楽しんで取り組む姿勢を養う。	毎日の家庭学習に英語学習を取り入れ、リスニング力を養う。
広報活動の 充実をはか る。	ホームページを 効果的に活用す る。	ホームページに日々の活動の様子を掲載し、教育活動への理解を深める。	ホームページのブログを利用し、日々の学校生活の様子を伝える。
	入試関連行事の 充実をはかる。	オープンスクール、保護者のための体験教室の充実をはかる。	本校を理解し、入学希望者が増えるよう、それぞれの時期に適切な内容のオープンスクールの実施。

## 5. 学校関係者評価

### (1) 構成

教育会代表（会長・副会長）・小学校顧問・関係者（校長・教頭・副教頭・担当）

### (2) 開催

平成31年1月26日（土）

### (3) 評価のために使用した資料

自己評価の結果及び次年度の課題と改善策

### (4) 学校関係者評価委員会のまとめ

- ・内部幼稚園の進学調査によると、小学校は義務教育のため、近年、公立小学校に進学する児童が増加しているが、平成30年度より男女共学になり、受験者数が増え始めた。信愛精神の礎であるカトリック精神に基づく、豊かな心・正しい判断力・奉仕の心の教育が社会に受け入れられているのが要因と思われる。さらに本校のよさを広く知ってもらうために入試説明会やオープンスクールなど、入試関連行事の充実をはかりたい。また、現在受験に関する情報をインターネットから得ている場合が多い。来夏に学院として、ホームページを一新する方向にある。スマートフォンにも対応した、新しいホームページを予定している。
- ・保護者は共働き家庭が増えているので、学童保育の利用が年々増加傾向にある。今後、学童保育やアフタースクールの充実にも力を入れる。
- ・中学受験にも対応できるように、教科書以外の副教材を使用し、個々の力に応じた指導を丁寧に行う。

6. 2018年度（平成30年度） 自己評価及び次年度の課題と改善策

<p>創立者についての理解を深める。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 カトリック精神に基づいて、豊かな心を養うとともに物事を正しく判断し、進んで国際社会に奉仕できる健康な人を育成する。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 毎月の献金やユニセフの活動を学び、自分たちにできることを考え、実行した。街頭募金活動を計画していたが、インフルエンザの流行により実施できなかった。</p> <p>(ACTION) 〈次年度の課題と改善策〉 自分たちの献金がどのように役立っているのかを知り、今まで以上、積極的に活動させたい。</p>	<p>(CHECK) 自己評価</p> <p>C</p>
<p>感謝と思いやりの心を養う。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 高学年が初めてかかわることになる男子児童に戸惑いながらも、掃除の仕方を指導したり、1年間でどの縦割り班も仲良く活動することができた。 運動会の8の字とび競争も、休み時間に各班で練習に励み、絆を深めた。</p> <p>(ACTION) 〈次年度の課題と改善策〉 6年生のリーダーシップの差が、班のまとまりの差にもつながった。さらにリーダーとして活躍できる児童を育てたい。</p>	<p>(CHECK) 自己評価</p> <p>B</p>
<p>持っている力を最大限に伸ばす。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 男女共学に伴い、中学受験に対応できる学力を養う。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 4年生以上は、月曜日・土曜日に少人数で学習に取り組み、個々の力に応じた指導を行うことが出来た。</p> <p>(ACTION) 〈次年度の課題と改善策〉 本学院中学校が女子校のため、5年後の男子の中学進学を見据えた指導を進める必要がある。</p>	<p>(CHECK) 自己評価</p> <p>B</p>
<p>効果的に ICT 機器を活用した授業を展開する。</p>	

<p>《具体的な取組計画》 基本的な使い方を習得させ、短時間で効果的な学習に活用させる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉</p> <p>1～5年でタブレットを使った授業研究の実施。</p> <p>『自己紹介ポスターをつくろう』=1年生= 『動く絵本をつくろう』スイミー=2年生= 『昔の暮らし』=3年生= 『大和川のつけかえ』『ごんぎつね』=4年生= 『平和学習』=5年生=</p> <p>(ACTION)</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉</p> <p>3年後のタブレット1人1台持ちに向けた活用の仕方を、さらに研究していきたい。</p>	<p>(CHECK) 自己評価</p> <p>A</p>
<p>ホームページを効果的に活用する。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 ホームページに日々の活動の様子を掲載し、教育活動への理解を深める。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉</p> <p>個人情報の問題で個人の特定が出来るような写真ははずしている。そのため、様子が十分に伝えきれていない部分がある。</p> <p>(ACTION)</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉</p> <p>学校生活の様子をこまめに写真に残し、ホームページの充実を図りたい。</p>	<p>(CHECK) 自己評価</p> <p>B</p>
<p>入試関連行事の充実をはかる。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 オープンスクール、保護者のための体験教室の充実をはかる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉</p> <p>入試関連行事に参加した園児さんの満足度は高く、受験につながっている。</p> <p>(ACTION)</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉</p> <p>更にホームページをリニューアルし、入試関連行事の募集を、タイミングを逃さず周知する。</p> <p>入試関連行事の参加者を増やし、受験につなげたい。</p>	<p>(CHECK) 自己評価</p> <p>A</p>

2018年度 小学校 学校自己評価（最終）

				A	B	C	D		
				よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	
学校運営	私学の独自性	1	建学の精神	建学の精神が教職員、児童・保護者等学校関係者に浸透している。	9	86	5	0	
		2	愛校心	在校生・卒業生は、学校に誇りや愛着をもっている。	19	76	5	0	
		3	宗教教育	宗教に基づいた教育に対する、児童・保護者の理解がある。	33	62	5	0	5
		4	家庭との連携	児童の指導において、家庭との連携ができています。	14	72	14	0	
	教育課程	5	教育計画	年間を通じた教育計画を、各教科別学期ごとに立てている。	52	48	0	0	
	教員間連携	6	教員間連携	教員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいた教育活動を行っている。	10	80	10	0	
		7	会議の有効性	内容を精選し、有効かつ効率よく行っている。	0	62	38	0	
	財務関係	8	財務に関する意識と財務状況	経営指標と財務状況を理解し、予算・決算の収支状況を理解している。また、協力を努める。	14	76	10	0	
	情報公開	9	ホームページの活用状況	ホームページで可能な範囲の情報公開をし、且つ、個人情報の管理には十分に気をつけている。	29	66	5	0	
		10	授業公開状況	保護者に参観授業はもとより、公開している。	19	57	24	0	
	危機管理	11	役割分担	事故・災害に対処する役割分担や備蓄・設備の状況を把握している。	14	57	24	5	
		12	危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察・消防との連携、訓練など安全対策を進んでいる。	33	57	10	0	
	開かれた学校づくり	13	地域交流	地域住民との交流や地域行事への参加、また、信愛のイベントも招待する。					
	広報活動	14	学校案内・入試説明会	参加者に、より理解してもらえるような企画・運営(ホームページやチラシ)	19	52	29	0	

				シ等) をしている.					
教育内容	カトリック教育	15	心の教育	毎日の朝礼・終礼時、宗教行事、宗教の授業を通して心の教育を行っている。	29	57	14	0	
	人権教育	16	研究体制	人権教育に関する課題、指導方法を研究する体制がある。	5	38	53	5	
		17	教育体制	人権尊重の教育において、意識を高める教育を行っている。	10	56	29	5	
		18	いじめ防止対策	児童の日常の変化を全教員で共有し、いじめの早期発見・防止に努めている。	19	76	5	0	
		19	児童支援対策	支援を要する児童へ相談員を中心に適切な支援を行っている。	10	56	24	5	5
	情報教育	20	情報能力育成	児童の情報能力の育成を図るため、1年生からプログラミングを主とした授業を行っている。	38	47	10	0	5
		21	情報モラル育成	情報の発信に伴う責任等、モラル向上のための教育を行っている。	33	67	0	0	
	環境教育	22	環境問題意識向上	ごみ・リサイクル・省エネ等環境への関心を高める教育をしている。	10	66	24	0	
		23	実践的態度の育成	清掃・校内美化を通じて、施設・設備を大事にするよう指導をしている。	24	62	14	0	
		24	理解度の把握	個々の理解度を把握し、それに応じた指導をしている。	19	76	5	0	
	教科指導	25	能力の伸長	習熟度別・少人数授業などで、児童一人ひとりの能力をのばしている。	14	81	5	0	
		26	教育機器の利用	教育機器を有効に積極的に活用している。	33	57	10	0	
	学校行事	27	学校行事	運動会・学習発表会等、行事を通して、望ましい人間関係を形成し、児童の自主的・実践的な態度を育てている。	14	72	14	0	
	国際教育	28	国際理解の推進	他国への歴史の理解、異文化交流等、国際理解に対する教育活動を行っている。特に、英語学習では学年に応じた課題設定と効果的な学習を行うための授業形態を導入している。	14	72	14	0	
特別活動	29	クラブ活動	わくわくタイムを通して、子ども達の可能性や能力を引き出している。	14	29	52	5		
	30	児童会・委員会活動	児童会や委員会活動を通して、児童	10	42	48	0		



				が主体的に活動できる体制が整っている。					
	読書指導	31	読書推進	図書館の利用促進や朝の10分間読書等、読書指導に力を入れている。	24	31	5	0	
生活指導支援	生活指導	32	指導方針の一貫性と生活指導	一貫した方針のもと、児童の状況に応じた生活指導を組織的に行っている。	29	71	0	0	
	児童支援	33	学習	児童一人ひとりに応じた学習支援の方法を工夫し、不備があればその都度改善を行っている。	29	66	5	0	
		34	進路	信愛中学校との連携体制をとり、適切な進路指導を行っている。	10	24	52	14	
		35	保健衛生	体調不良・けが等には、いち早く適切に対応している。	52	48	0	0	
教員研修・資質向上		36	教員の資質向上	教員間で授業内容を評価し、意見の交換を行う機会をつくっている。	10	42	48	0	
		37		分かりやすい授業をめざして、教材準備や教材研究を惜しみなく努めている。	19	81	0	0	
	教員研修	38	校内研修	年間の研修計画をたて、効果的な研修を行っている。	5	57	38	0	
		39	校外研修	教員が校外研修に参加できる体制が整っている。	0	42	53	5	
		40	研修成果の共有	研修、研究に参加した成果を教員間で共有する体制が整っている。	4	48	48	0	